

報告事項 1 令和4年度事業報告

令和4年度 重点課題・重点事業（事業報告）説明資料

重点課題：

- 1 看護の機能強化
- 2 専門職としてのキャリア継続支援
- 3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 4 地域における危機管理体制の強化

課題：日本看護協会等との連携の中で取り組みを継続する事業

- 1-1 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育4年制化への制度改革」推進協力事業
- 1-2 ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築の理解と推進協力事業
- 1-3 准看護師制度が持つ課題の共有事業
- 1-4 政策推進力の強化事業
- 1-5 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」事業の理解と協力事業

重点事業：

- 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業
- 1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業
- 1-3 看護職出向支援事業

- 2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業
- 2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業
- 2-3 継続教育の充実事業

- 3-1 特定行為研修・JNA ラダーの普及推進事業
- 3-2 感染管理認定看護師養成機関設置支援事業

- 4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備
- 4-2 感染症対策の整備

1 看護の機能強化

1-1 地域包括ケアシステムを支える看護機能強化の推進事業

実施内容

- 1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進
- 2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

成果(進捗報告)

- 支部理事等が市町の会議等に参加し、地域の実情を把握
- 理事会での支部活動報告により、活動を共有

実施内容

1 地域包括ケアの実現を支える多職種連携活動事業の推進

- 1) 病院や診療所、訪問看護ステーション、行政等の看護職や他職種と連携し、地域連携を推進した
 - ①支部理事が、市町の会議等の実施状況等を把握し、会議等に積極的に参画
 - ②地域の実情に即した支部活動の実施
 - ③交流会の開催やコミュニティ活動へ参加
- 2) 香川県地域包括ケアシステム学会への会員推奨と学会ホームページにて看護協会活動を紹介した

2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

- 1) 理事会において活動内容を報告し情報共有を図った
- 2) 理事会報告時の資料をホームページに掲載し、支部活動の共有及び周知を図った

1 看護の機能強化
1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業

実施内容

- 1 人材育成及び資質向上
- 2 訪問看護総合支援活動の推進
- 3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進
- 4 職能活動のPR

成果(進捗報告)

- 訪問看護入門研修、訪問看護師養成講習会、訪問看護推進研修、訪問看護管理者研修等の開催
- 訪問看護ネットワークセンターとともに、訪問看護総合支援センター機能の一部を担った
- 研修・検討会を開催し、施設等看護職の資質向上とネットワークの推進及び職能活動のPRを実施

実施内容

1 人材育成及び資質向上

訪問看護推進研修及び訪問看護師養成講習会、在宅及び施設等における看護管理者研修会の開催

- 1) 訪問看護推進研修を2回(7月2日 24名受講、8月6日 15名受講)開催した
- 2) 訪問看護師養成講習会は、eラーニングを6月17日から、集合研修を7月16日から開始した17名が受講し、16名が修了した。訪問看護ステーション実習は半日2日間に時間短縮し、実施した
- 3) 訪問看護入門研修を2回(6月18日、7月2日 13名受講)開催した
- 4) 在宅療養並びに訪問看護広報活動事業は病院見学3名、訪問看護ステーション見学9名の参加があった

2 訪問看護総合支援活動の推進

訪問看護ネットワークセンターとともに、訪問看護総合支援センターの機能を発揮するため、関係機関等との連携し、情報発信・情報共有を行った

3 施設等看護職の資質向上とネットワークの推進

- 1) 介護施設における看取りガイドラインについて、在宅及び訪問看護ステーションを含めた施設においても活用できるガイドラインとなるよう見直しを行い、令和5年度に完成予定である
- 2) 高齢者施設における看取り等について、「介護施設等に勤務する看護職員対象研修」を12月3日に開催し、34施設から42名の参加があった。研修会では、ACPを進めていくことの必要性や所属施設の現状・課題について意見交換を行った

4 職能活動のPR

看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)の活動を研修会や看取りガイドラインの紹介などにより周知を行った

1 看護の機能強化
1-3 看護職出向支援事業

実施内容

- 1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み
- 2 看護職出向支援推進への取り組み

成果(進捗報告)

- 助産師出向延べ60日間、研修目的出向22日間実施
- 香川県助産師出向支援導入事業10年を記念誌に纏めた

実施内容

1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み

- 1) 偏在是正目的及び研修目的出向の実施
偏在目的出向：小豆島中央病院へ短期間2名のプラチナ助産師による複数回出向を延べ12回（42日間）、香川大学医学部附属病院より1名が1か月出向した
研修目的出向：さぬき市民病院から屋島総合病院へ1名2か月に亘り、延べ22日間出向した
- 2) 産科医療機関に対しニーズ調査を実施
令和4年12月産科標榜施設19施設に実施し、結果を香川県助産師出向推進協議会及び10周年記念誌にて報告
- 3) 院内助産システムの普及
- 4) 香川県助産師出向支援導入事業10周年記念誌を発行
- 5) 日本看護協会主催「院内助産・助産師外来推進フォーラム」において、さぬき市民病院赤松美智代看護部長が発表

2 看護職出向支援推進への取り組み

- 1) 訪問看護従事者の確保のための看護職出向支援を実施
コロナ禍での人材不足で出向が推進できなかった

2 専門職としてのキャリア継続支援
2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業

実施内容

- 1 看護職の働き方改革の推進
- 2 看護職の勤務環境改善の推進

成果(進捗報告)

- 看護職員の賃金の抜本的見直しに関する勉強会等の開催により、賃金制度の見直しに係る看護管理者としての役割を共有
- 看護職の処遇改善に関する実態調査の実施

実施内容

1 看護職の働き方改革の推進

- 1) 日本看護協会が提案した「就業継続が可能な看護職の働き方」について、看護職の理解促進するために情報提供を行った
- 2) 看護補助者との協働
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修（DVD研修）を3回開催し、319名の参加があった

2 看護職の勤務環境改善の推進

- 1) 看護業務の効率化、生産性向上、労働環境改善や看護職員の賃金の抜本的見直しに係る勉強会を開催した 令和5年2月15日 参加者：21施設49名
香川県看護協会事業活動実践報告会にて、情報提供、先進事例紹介等を行った
令和5年3月4日 参加者：26施設84名
- 2) 看護職の処遇改善に関する実態調査を行い、香川県看護協会事業活動実践報告会にて報告を行った

2 専門職としてのキャリア継続支援
2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業

実施内容

- 1 ナースセンター事業の機能強化
- 2 看護の魅力等普及活動
- 3 看護職のナースセンター届出制度の活用推進
- 4 地域医療体制の構築に向けた看護職の確保

成果(進捗報告)

- 看護職員対象の就職説明会をオンデマンド配信し、県内病院等の情報提供
- 中・高校生等にふれあい看護体験・看護の出前事業を実施し、看護の魅力を普及
- 看護力再開発講習会(基本コース・看護基礎技術コース)を開催し、就労支援

実施内容

1 ナースセンター事業の機能強化

- 1) ナースセンター・サテライト相談(ハローワーク高松・丸亀・観音寺)を実施した
- 2) 就業支援コーディネーターによる施設訪問を3回実施した
- 3) かがわナースナビにより看護関係の最新情報を提供した
- 4) 看護職員を対象とした就職説明会をYouTubeで配信(令和5年3月1日～31日)で実施した(36施設参加)
- 5) 7月～9月に看護職員確保状況調査を医療機関87施設(回答77%)と看護教育機関19校23科(回答100%)に実施した
- 6) 新人看護職員対象研修の中でナースカフェ(8月24日)を実施した

2 看護の魅力等普及活動

- 1) 中・高校生等を対象にふれあい看護体験を8施設が実施し、73名の参加があった
- 2) 看護の出前事業を実施した。中学校1校
- 3) 「いのちのせんせい」として、7月4日～令和5年2月28日に延べ77校に助産師を派遣し、うち24校で看護の魅力を伝えた

3 看護職のナースセンター届出制度の活用推進

- 1) ナースセンターからのお知らせ(年2回:4月、10月かがわ看護だよりに掲載)によりPRした
- 2) NCCS、届出支援システム「とどけるん」の管理運用を行った

4 地域医療体制の構築に向けた看護職の確保

- 1) 感染管理認定看護師、潜在看護職のIHEAT登録等により看護職を確保し、派遣調整を行った
- 2) 潜在看護師の就労支援のために看護力再開発講習会を開催した
基本コース 1回(7月)、看護基礎技術コース 4回(9月～令和5年3月)開催した

2 専門職としてのキャリア継続支援 2-3 継続教育の充実事業

実施内容

- 1 質の高い看護人材を育成するラダーと連動した継続教育の推進
- 2 看護実践に活かされる研究の支援と香川県看護学会の活性化
- 3 withコロナにおける看護職員研修の充実

成果(進捗報告)

- ラダーと連動した継続教育をハイブリッド研修を取入れながら企画・実施
- 看護実践に活かされる研究推進に向け、香川県看護学会をハイブリッド開催
- コロナ禍における新人看護職員の現状や課題に対応した研修の企画・実施

実施内容

1 質の高い看護人材を育成するラダーと連動した継続教育の推進

JNAラダーの各レベル到達のための研修については、19研修を企画し、一部Zoomを活用したハイブリッド研修での開催などコロナ感染状況を考慮し実施した。令和3年度に引き続き実践スキル向上を図り看護ケアに活かせる研修を継続企画した。定員充足率80~100%超えの研修が9研修、平均88%であった

2 看護実践に活かされる研究の支援と香川県看護学会の活性化

- 1) 令和5年1月29日にハイブリッドで開催した。実践報告発表も取り入れ演題募集し、発表数 13題(研究部門 9題、実践報告部門 4題)参加者数 304名(学生70名含む)であった
- 2) 研究に関連した3研修(研究計画書作成・研究論文のまとめ方・査読の視点)については、定員充足率が35%前後と低い結果であった

3 withコロナにおける看護職員研修の充実

- 1) 新人看護職員対象研修を従来の5回開催から6回開催とした。令和5年2月に新企画した研修は、フォローアップとして位置付け、演習を中心に1年間の振り返りや次年度の目標設定などを内容に盛り込んで開催した
新人指導者対象研修では、就職時の新人看護職員の現状や対応について、具体的に学べるよう企画した
- 2) 管理者対象研修については、1研修企画し定員充足率132%であった

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
3-1 特定行為研修・JNAラダーの普及推進事業

実施内容

- 1 特定行為研修受講推進のための取り組み
- 2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

成果(進捗報告)

- 「特定行為に係る研修制度」「新たな認定看護師制度」等の情報提供
- JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のため、研修計画及び情報提供の実際
- 看護師職能委員会 I 企画の交流会を通して、動機づけ評価における課題と対策について検討

実施内容

1 特定行為研修受講推進のための取り組み

- 1) 特定行為研修受講推進に向けた情報提供
日本看護協会から発信される情報を提供・広報した
- 2) 特定行為研修修了者の役割や活動範囲についての理解を得るため、実践活動報告の実施
日本看護協会から発信される情報を提供・広報した

2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

- 1) 職能委員会が開催する交流会を通じて、各病院、施設の取組み状況の共有と推進
あらゆる施設や職場で活用可能なラダーを用い、全ての看護師に共通する看護実践能力の育成と保証を目的に、今年度は現任教育と看護実践能力評価に関する調査を行った。その結果をもとに、評価者のスキル向上を目指して交流会を12月17日実施した
- 2) アドバンス助産師の認定者（再認定を含む）の増加を推進する
CLOCMiP®レベルⅢ申請に必要な必須研修「妊娠中と授乳中の薬について」を開催し、20名の参加があった
令和4年度アドバンス助産師登録数は107名であった

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成 3-2 感染管理認定看護師養成機関設置支援事業

実施内容

- 1 感染管理認定看護師養成機関開設に向けての支援
- 2 感染管理認定看護師養成機関開講に向けての取り組み
- 3 県内医療機関への周知

成果(進捗報告)

- 感染管理認定看護師教育B課程の指定機関申請
- 感染管理認定看護師教育B課程の開講に向けたキックオフセミナーの開催
- 感染管理認定看護師教育B課程の開講に向けた運営に係る準備

実施内容

1 感染管理認定看護師養成機関開設に向けての支援

当初、開講予定の機関に対し「開設に向けての支援」として取り組んでいたが、8月6日開講準備に取り組んでいた機関より開講が困難との相談があり、関係機関と協議し、9月21日書面理事会の決議により、当会での開講として取り組むことになった

2 感染管理認定看護師養成機関開講に向けての取り組み

1) 協議会の開催 (2回/年)

特定行為研修共通科目指導医、感染管理認定看護師教育B課程の専任教員等により、10月17日、令和5年1月27日開催した。教育課程カリキュラムについて情報提供・共有を行った。開講に向け、情報共有及び周知会を実施していく方向とした

2) 各協力機関及び人材の確保

実習指導実施病院の指導医及び感染管理認定看護師等を選出した

3) 指導者の育成支援

県下の協力機関の指導者(医師、薬剤師、看護師)を登録した。協力機関の指導者の育成については、今後実習指導者会議等を開催し順次実施していくことを計画した

4) その他の支援

看護協会としての先進教育機関を視察

日 程：令和5年3月20日

場 所：公益社団法人大阪府看護協会

内 容：感染管理認定看護師教育B課程の運営等について情報収集及び意見交換

視察者：専任教員、事務局担当等

3 県内医療機関への周知

1) 周知会の開催と協力依頼

(1) キックオフセミナー&入学説明会の開催

・第1回：令和5年2月27日 参加者：オンライン96施設、会場参集 44名

「新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修」と兼ねてハイブリッドにて開催

・第2回：令和5年3月12日 参加者15名

(2) 香川県看護協会事業活動実践報告会にて、ICNの活動報告と合わせて教育課程開講の経緯及び入学方法等について周知及び報告 令和5年3月4日 参加者:74名

4 地域における危機管理体制の強化
4-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備

実施内容

- 1 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練による災害支援活動の体制整備
- 2 災害支援ナースの育成
- 3 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

成果(進捗報告)

- 災害支援ナース養成研修やフォローアップ研修により学びを深めた
- 携帯用品、在庫確認等平常時からの体制整備の実施

事業内容

1 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練による災害支援活動の体制整備

- 1) 日本看護協会からの災害支援ナース派遣調整合同訓練は企画がなかった
- 2) 災害支援ナースの登録を更新した 登録者数 134名

2 災害支援ナースの育成

- 1) 災害支援ナース養成研修（基礎編）の開催（DVD研修）
日程：10月12～13日 受講者：25名
- 2) 災害支援ナースフォローアップ研修
日程：9月3日 受講者：48名
- 3) 災害支援ナース新規登録者研修を開催
日程：8月27日 受講者：21名

3 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

- 1) 災害時備蓄品と災害支援ナース携帯用品の在庫確認と整理を行った

4 地域における危機管理体制の強化 4-2 感染症対策の整備

実施内容

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 感染症パンデミック・大規模災害における看護支援活動
- 3 香川県看護協会のBCP(事業継続計画)の策定

成果(進捗報告)

- クラスタが発生した高齢者施設等に感染管理認定看護師の派遣調整を行い、感染の拡大を防止
- 新型コロナウイルス感染症の在宅療養支援等に必要な知識や技術の習得のための研修会等の開催
- ワクチン接種や保健所へのIHEAT登録及び派遣体制の整備並びに派遣

実施内容

1 新型コロナウイルス感染症への対応

- 1) 県や市からの要請により高齢者施設や医療機関等に感染管理認定看護師を派遣し、各施設の感染管理体制の整備を支援した
 - ・ 高齢者施設 33施設
 - ・ 医療機関 5施設
- 2) 様々な新型コロナウイルス対策事業が円滑に進むように、人材確保・派遣等の実施
 - ・ クラスタが発生した施設への看護師の派遣
 - ・ 新型コロナウイルスワクチン接種業務への看護職員の派遣調整の実施
 - ・ 潜在看護職等に新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）への登録を奨励し、協力体制の整備登録者への研修及び保健所からの派遣要請に応じてIHEATの派遣

2 感染症パンデミック・大規模災害における看護支援活動

日本看護協会及び都道府県から看護支援活動の要請がなかった

3 香川県看護協会のBCP(事業継続計画)の策定

- 1) BCP策定に係る研修会の開催及び講師からの個別支援の機会を設け、訪問看護ステーション等のBCP作成を支援した
次年度は、完成したBCPを用いて、シミュレーションを行う予定
- 2) 香川県看護協会事業所（看護小規模多機能型居宅介護・訪問看護ステーション）のBCPを作成した